

一 般 質 問

尾 元 武 議員

住民活動の支援に新風を!!

問 合併してはや3年、町内にはNPO法人や法人格を持たない任意団体など、様々な団体が地域づくりや地域の活性化のため、多方面で活動している。町財政の厳しさが叫ばれるなか、住民自らが知恵を出し地域を支え活性化しようとする活動を支援することは、町づくりを考えたとき大変重要と考える。町はその対応をどの様に考えているのか。

答 (町長) 各団体の地域づくりに対して、町はこれを側面から支援するものと認識し、かつ、こうした地域づくりの活動は何より重要不可欠と認識している。これまでは、県事業に併せて「地域づくり活動支援事業」を設置し、



連携重視の活動を支援してきたが、今後は国県の動向を見極めながら、活動支援のため地域づくり団体の提案を支援する制度を検討していきたいと考える。町の活力再生は活動団体に委ねる部分も大きく、期待もしている。より効果のあるものをと考えている。

要望 住民と行政がともに歩み知恵を出し合う協働のまちづくりは、活性化はもとより郷土への愛着心も高まり、将来子どもたちが誇りに思える魅力ある町の実現につながる。町独特の効果のある制度を期待する。共に歩むことに意義を感じる。



期待されるボランティア活動

広 田 清 晴 議員

住民への説明は？
病院建設!

問 県道沿いのパラペット(堤防)一斉点検と、戸田地区の早期改善の努力を求める。

答 (町長) 戸田地区の街中が特にひどい点については認識している。町内全般の問題として県に強く要望していく。

問 年金問題が大きな社会問題になっているが、国の責任で解決する事が大前提である。町民の不安をなくす立場から町内での相談窓口の設置をすべき。

又年金台帳・領収書保管の状況はいかに。

答 (町長) 多くの問い合わせが町にきている。紙台帳での過去の納付状況の確認、社会保険庁への照会を行っている。窓口



開設は現在考えていない。社会保険庁移管前の領収書や紙台帳は、医療保険課に保管している。

問 大島病院の建設は多額の投資。建設にあたっては必要性や病院の財政状況を十二分に町民に説明し、理解を求める事が大事。その理由は、国の医療点数の引き下げ、99ベッドなのに医師看護師不足の中で現状は60ベッドしか対応できない状況、交付税減の状況、起債の変更など状況が大きく変わっている。

答 (企業局) 対応していく。

意見 その他国の言いなりの政治が進めば、基地騒音拡大と原発に狭まれた島になり、安全が脅かされる点についてとり上げた。